

## オリンピック・パラリンピック等推進対策特別委員会中間報告書

本委員会は、平成25年10月11日に設置され、2020年オリンピック・パラリンピック開催都市が東京に決定されたことを受け、同オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた計画や準備に関する事、並びにラグビーワールドカップ2019<sup>TM</sup>の開催に向けた事項についての調査・検討、及び必要な活動を行ってきたところですが、現在までの調査、審議の経過について別紙のとおり中間報告いたします。

平成29年6月1日

オリンピック・パラリンピック等推進対策特別委員長

高島 なおき

東京都議会議長

川井 しげお 殿

## 目 次

1	本委員会の設置	1
(1)	設置の経過	1
(2)	委員及び役員	1
(3)	小委員会の設置	5
2	調査審議及び必要な活動の経過	8
3	調査・検討の概要	21
(1)	施設・輸送等について	22
(2)	大会運営について	22
(3)	気運醸成について	23
(4)	連携協力について	24
(5)	費用負担について	24
(6)	レガシーについて	24
(7)	ラグビーワールドカップ特別対策委員会（小委員会）での調査・検討について	24
4	今後に向けて	26

### (資料)

- 資料1 これまでにI O C理事会に報告し、承認を得たオリンピック競技会場  
(32競技、35会場)
- 資料2 これまでにI P C理事会に報告し、承認を得たパラリンピック競技会場  
(22競技、18会場)

## 1 本委員会の設置

### (1) 設置の経過

本委員会は、東京都議会として、2020年に開催される第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会の開催に向けた調査・検討及び必要な活動を行うことを目的として、平成25年10月11日の平成25年第三回定例会本会議において、小林健二君外126名の動議により、下記の要綱のとおり設置された。

### 記

#### オリンピック・パラリンピック推進対策特別委員会設置要綱

- 1 名称  
オリンピック・パラリンピック推進対策特別委員会とする。
- 2 設置の根拠  
地方自治法第109条第1項及び東京都議会委員会条例第4条による。
- 3 目的  
2020年に開催される第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会の開催に向けた調査・検討及び必要な活動を行う
- 4 委員会の組織  
委員の定数は、18名とし、委員長1名、副委員長3名及び理事3名を置く。

※ 平成27年12月16日の本会議においてオリンピック・パラリンピック推進対策特別委員会設置要綱の一部改正に関する動議が提出され、以下のとおり要綱の一部改正が可決された。

#### オリンピック・パラリンピック等推進対策特別委員会設置要綱

- 1 名称  
オリンピック・パラリンピック等推進対策特別委員会とする。
- 2 設置の根拠  
地方自治法第109条第1項及び東京都議会委員会条例第4条による。
- 3 目的  
2020年に開催される第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会並びに2019年に開催される第9回ラグビーワールドカップ2019の開催に向けた調査・検討及び必要な活動を行う
- 4 委員会の組織  
委員の定数は、23名とし、委員長1名、副委員長3名及び理事5名を置く。

### (2) 委員及び役員

ア 議長は、平成25年10月11日の本会議に諮り、次のとおり委員を指名した。  
小林 健二君 山内れい子君

野上ゆきえ君 小山くにひこ君  
橋 正剛君 山崎 一輝君  
鈴木 隆道君 両角みのる君  
畔上三和子君 小磯 善彦君  
村上 英子君 林田 武君  
吉原 修君 高島なおき君  
立石 晴康君 川井しげお君  
酒井 大史君 吉田 信夫君

イ 平成25年10月11日の委員会において、次のとおり委員長、副委員長及び理事が互選された。

委員長 高島なおき君  
副委員長 畔上三和子君  
副委員長 小磯 善彦君  
副委員長 村上 英子君  
理事 橋 正剛君  
理事 吉原 修君  
理事 吉田 信夫君

ウ 議長は次のとおり、委員の辞任を許可し、新たに委員を指名した旨を平成27年2月18日の平成27年第一回定例会本会議で報告した。

平成26年12月25日付け

○辞任 野上ゆきえ君  
○選任 石川 良一君

平成27年2月10日付け

○辞任 両角みのる君  
○選任 徳留 道信君

エ 議長は次のとおり、委員の辞職に伴い、新たに委員を指名した旨を平成27年6月9日の平成27年第二回定例会本会議で報告した。

平成27年4月7日付け

○辞職 村上 英子君  
○選任 秋田 一郎君

オ 平成27年4月10日の委員会において、村上 英子副委員長の辞職に伴い、欠員となった副委員長1名及び副委員長就任に伴い欠員となった理事1名が次のとおり互選された。

副委員長 吉原 修君  
理 事 秋田 一郎君

カ 議長は次のとおり、委員の辞任を許可し、新たに委員を指名した旨を平成27年12月1日の平成27年第四回定例会本会議で報告した。

平成27年10月13日付け

○辞任 小磯 善彦君 橘 正剛君  
○選任 藤井 一君 伊藤こういち君

キ 平成27年11月9日の委員会において、小磯 善彦副委員長及び橘 正剛理事の辞任に伴い、欠員となった副委員長1名及び理事1名が次のとおり互選された。

副委員長 藤井 一君  
理 事 伊藤こういち君

ク 平成27年12月16日の平成27年第四回定例会本会議において、設置要綱の一部改正による委員定数の増に伴い、議長は同本会議に諮り、次のとおり委員を指名した。

○選任 相川 博君 川松真一朗君  
齊藤やすひろ君 今村 るか君  
上田 玲子君

ケ 平成27年12月16日の委員会において、次のとおり理事が互選された。

理 事 相川 博君  
理 事 小山くにひこ君

コ 議長は次のとおり、委員の辞任を許可し、新たに委員を指名した旨を平成28年9月28日の平成28年第三回定例会本会議で報告した。

平成28年9月14日付け

○辞任 小山くにひこ君  
○選任 菅野 弘一君

平成28年9月15日付け

○辞任 上田 令子君  
○選任 おときた 駿君

サ 平成28年10月11日の委員会において、畔上三和子副委員長の辞任が許可され、欠員となった副委員長1名及び欠員と副委員長就任に伴い欠員となった理事2名が次のとおり互選された。

副委員長 秋田 一郎君  
理 事 山崎 一輝君  
理 事 酒井 大史君

シ 議長は次のとおり、委員の辞任を許可し、新たに委員を指名した旨を平成28年12月1日の平成28年第四回定例会本会議で報告した。

平成28年10月14日付け

○辞任 藤井 一君 伊藤こういち君  
小林 健二君 斉藤やすひろ君  
酒井 大史君  
○選任 吉倉 正美君 遠藤 守君  
まつば美子君 谷村 孝彦君  
小山くにひこ君

ス 平成28年11月2日の委員会において、藤井 一副委員長及び伊藤こういち理事、酒井 大史理事の辞任に伴い、欠員となった副委員長1名及び理事2名が次のとおり互選された。

副委員長 吉倉 正美君  
理 事 遠藤 守君  
理 事 小山くにひこ君

セ 議長は次のとおり、委員の辞任を許可し、新たに委員を指名した旨を平成29年2月22日の平成29年第一回定例会本会議で報告した。

平成29年1月12日付け

○辞任 石川 良一君  
○選任 野上ゆきえ君

平成29年2月15日付け

○辞任 林田 武君  
○選任 木村 基成君

平成29年2月20日付け

○辞任 おときた 駿君  
○選任 上田 令子君

平成29年2月22日付け

○辞任 木村 基成君  
○選任 林田 武君

ソ 平成29年2月28日の平成29年第一回定例会本会議において、委員の辞任及

び選任が行われた。

○辞任 谷村 孝彦君

○選任 鈴木貫太郎君

タ 平成29年3月9日の委員会において、秋田 一郎副委員長及び山崎一輝理事の辞任が許可され、欠員となった副委員長1名及び理事1名並びに副委員長就任により欠員となった理事1名が次のとおり互選された。

副委員長 小山くにひこ君

理 事 秋田 一郎君

理 事 野上ゆきえ君

チ 議長は次のとおり、委員の辞任を許可し、新たに委員を指名した旨を平成29年6月1日の平成29年第二回定例会本会議で報告した。

平成29年5月10日付け

○辞任 立石 晴康君

○選任 神野 次郎君

平成29年5月25日付け

○辞任 神野 次郎君

○選任 尾崎 大介君

### (3) 小委員会の設置

#### ア 設置の経過

本委員会では、ラグビーワールドカップ2019<sup>TM</sup>の開催に向けた事項の調査を行うため、平成27年12月16日に、11名の委員をもって構成する「ラグビーワールドカップ特別対策委員会」を本委員会の小委員会として下記のとおり設置した。

#### 記

##### ラグビーワールドカップ特別対策委員会運営要領

平成27年12月16日

#### 1 名称

ラグビーワールドカップ特別対策委員会（以下「ラグビー委員会」という。）

#### 2 目的

第9回ラグビーワールドカップ2019の開催に向けた効率的かつ専門的な調査・検討及び必要な活動を行う。

#### 3 組織等

- (1) ラグビー委員会は、11名の委員をもって構成する。
- (2) ラグビー委員会の委員は、委員会の委員長が指名する。
- (3) ラグビー委員会に、委員長1名及び副委員長2名を置く。
- (4) ラグビー委員会の委員長及び副委員長は、ラグビー委員会において互選する。
- (5) ラグビー委員会は、ラグビー委員会の委員長が招集する。
- (6) ラグビー委員会の運営に関し必要な事項を協議するため、打合会を置く。
  - ア 打合会は、ラグビー委員会の委員長及び副委員長で組織する。
  - イ ラグビー委員会の委員長が必要と認めるときは、ラグビー委員会の委員を打合会に出席させることができる。

#### 4 理事者の出席

オリンピック・パラリンピック準備局長及び関係する担当部長は、原則として出席するものとし、その他の関係局長等は、必要に応じて出席するものとする。

#### 5 ラグビー委員会の報告

ラグビー委員会の委員長は、調査・検討の結果を委員会の委員長に報告する。

#### 6 委員会室

第4委員会室

#### 7 その他

この要領に定めるもののほか、ラグビー委員会の運営は委員会に準じて行う。

#### イ 小委員会委員及び役員

- 委員会委員長は、平成27年12月16日のオリンピック・パラリンピック等推進対策特別委員会において、次のとおり小委員会委員を指名した。

川松真一郎君 斉藤やすひろ君  
伊藤こういち君 山崎 一輝君  
石川 良一君 徳留 道信君  
今村 るか君 秋田 一郎君  
相川 博君 吉原 修君  
吉田 信夫君

- 平成27年12月16日の小委員会において、次のとおり小委員会の委員長及び副委員長が互選された。

委員長 吉原 修君  
副委員長 伊藤こういち君  
副委員長 相川 博君

- 委員会委員長から、平成28年10月14日付で次のとおり委員の辞任と新た



に委員を指名した旨、通知があった。

○辞任 伊藤こういち君 斉藤やすひろ君

○選任 谷村 孝彦君 吉倉 正美君

- 平成28年11月2日の小委員会において、伊藤こういち副委員長の委員辞任に伴い、欠員となった副委員長1名が互選された。

副委員長 谷村 孝彦君

- 委員会委員長から、平成29年1月12日付で次のとおり委員の辞任と新たに委員を指名した旨、通知があった。

○辞任 石川 良一君

○選任 野上ゆきえ君

- 委員会委員長から、平成29年2月20日付で次のとおり委員の辞任と新たに委員を指名した旨、通知があった。

○辞任 野上ゆきえ君

○選任 小山くにひこ君

- 委員会委員長から、平成29年2月28日付で次のとおり委員の辞任と新たに委員を指名した旨、通知があった。

○辞任 谷村 孝彦君

○選任 鈴木貫太郎君

- 平成29年3月9日の小委員会において、谷村 孝彦副委員長の委員辞任に伴い、欠員となった副委員長1名が互選された。

副委員長 鈴木貫太郎君

2 調査審議及び必要な活動の経過

本委員会は、60回の委員会及び60回の理事会の開催を実施し、次のとおり調査・検討を行った(開催回数には、小委員会及び打合会の回数を含む)。

年 月 日	委員会及び理事会の調査事項	
	委員会 (小委員会)	理事会 (打合会)
平成 25 年 10月11日(金)	○委員長の互選 ○副委員長の互選 ○理事の互選 ○議席について	・運営要領について ・その他
11月29日(金)		・今後の委員会運営について ・その他
12月11日(水)	○報告事項 (説明・質疑) (1) 新国立競技場の整備について (2) 東京オリンピック・パラリンピック 競技大会組織委員会の設立について (3) ナショナルトレーニングセンターに ついて ○閉会中の継続調査について	・本日の委員会運営につ いて ・委員長口頭報告につ いて ・閉会中の継続調査につ いて ・その他
平成 26 年 2月26日(水)	○報告事項 (説明) (1) 2020年東京オリンピック・パラ リンピック競技大会について (2) 東京都が整備する施設の建設スケジ ュール (案) について	・本日の委員会運営につ いて ・その他
3月17日(月)	○閉会中の継続調査について	
4月18日(金)	○報告事項 (1) ソチ・オリンピック・パラリンピッ クについて (説明) (2) 2020年東京オリンピック・パラ リンピック競技大会招致活動報告に ついて (説明) (3) 2020年東京オリンピック・パラ リンピック競技大会について (質疑)	・本日の委員会運営につ いて ・その他

	(4) 東京都が整備する施設の建設スケジュール (案) について (質疑)	
6月11日(水)	○報告事項 (質疑) (1) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致活動報告について ○閉会中の継続調査について	・本日の委員会運営について ・その他
6月19日(木)		・今後の委員会運営について ・その他
6月23日(月)	○報告事項 (説明) (1) 2020年東京オリンピック・パラリンピック会場計画の見直しについて	・本日の委員会運営について ・その他
9月1日(月)	○報告事項 (説明) (1) 2020年東京オリンピック・パラリンピック会場計画の再検討の状況について (2) 選手村の整備について	・本日の委員会運営について ・その他
9月10日(水)	○報告事項 (質疑) (1) 2020年東京オリンピック・パラリンピック会場計画の見直しについて (2) 2020年東京オリンピック・パラリンピック会場計画の再検討の状況について (3) 選手村の整備について	・本日の委員会運営について ・その他
9月25日(木)	○閉会中の継続調査について	
11月17日(月)		・今後の委員会運営について ・その他
11月19日(水)	○報告事項 (説明) (1) 2020年東京オリンピック・パラリンピック会場計画の再検討の状況について	・本日の委員会運営について ・その他

12月22日(月)	<p>○報告事項</p> <p>(1) オリンピックアジェンダ2020について(説明)</p> <p>(2) 選手村 大会終了後における住宅棟のモデルプランについて(説明)</p> <p>(3) 2020年東京オリンピック・パラリンピック会場計画の再検討の状況について(質疑)</p> <p>○閉会中の継続調査について</p>	<p>・本日の委員会運営について</p> <p>・閉会中の継続調査について</p> <p>・その他</p>
平成27年 1月27日(火)	<p>○報告事項</p> <p>(1) 大会開催基本計画の概要について(説明)</p> <p>(2) 選手村 大会終了後における住宅棟のモデルプランについて(質疑)</p>	<p>・本日の委員会運営について</p> <p>・その他</p>
2月27日(金)	<p>○報告事項(説明)</p> <p>(1) 大会開催基本計画について</p>	<p>・本日の委員会運営について</p> <p>・その他</p>
3月6日(金)	<p>○報告事項</p> <p>(1) 2020年東京オリンピック・パラリンピック会場計画の再検討の状況等について(説明)</p> <p>(2) 大会開催基本計画の概要について(質疑)</p> <p>(3) 大会開催基本計画について(質疑)</p> <p>○閉会中の継続調査について</p>	<p>・本日の委員会運営について</p> <p>・閉会中の継続調査について</p> <p>・その他</p>
4月10日(金)	<p>○副委員長の互選</p> <p>○報告事項</p> <p>(1) 平成27年度における競技会場等整備の予定について(説明)</p> <p>(2) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書案について(説明)</p> <p>(3) 2020年東京オリンピック・パラリンピック会場計画の再検討の状況等について(質疑)</p>	<p>・本日の委員会運営について</p> <p>・その他</p>

5月27日(水)	○報告事項(質疑) (1)平成27年度における競技会場等整備の予定について (2)2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書案について	・本日の委員会運営について ・その他
6月11日(木)	○報告事項(説明) (1)2020年東京オリンピック・パラリンピック会場計画の再検討の状況等について (2)新規恒久施設に係る後利用の方向性等について (3)2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた今後の開催準備について	・本日の委員会運営について ・その他
6月22日(月)	○報告事項(質疑) (1)2020年東京オリンピック・パラリンピック会場計画の再検討の状況等について (2)新規恒久施設に係る後利用の方向性等について ○閉会中の継続調査について	・本日の委員会運営について ・閉会中の継続調査について ・その他
8月4日(火)	○報告事項(説明) (1)新国立競技場の整備計画見直しについて (2)東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会会場計画の再検討の状況について (3)東京2020パラリンピック競技大会について (4)東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会エンブレムについて	・本日の委員会運営について ・その他
8月28日(金)	○報告事項 (1)新国立競技場の整備計画見直しについて(その2)(説明)	・本日の委員会運営について ・その他

	<p>(2) 新国立競技場の整備計画見直しについて (質疑)</p> <p>(3) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会会場計画の再検討の状況について (質疑)</p> <p>(4) 東京2020パラリンピック競技大会について (質疑)</p> <p>(5) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会エンブレムについて (質疑)</p>	
9月7日(月)		<p>・今後の委員会運営について</p> <p>・その他</p>
9月17日(木)	<p>○報告事項</p> <p>(1) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会エンブレムの使用中止について (説明)</p> <p>(2) 新国立競技場の整備計画見直しについて (質疑)</p> <p>(3) 新国立競技場の整備計画見直しについて (その2) (質疑)</p>	<p>・本日の委員会運営について</p> <p>・その他</p>
10月6日(火)	<p>○報告事項</p> <p>(1) 東京2020オリンピック競技大会の追加種目について (説明)</p> <p>(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会会場計画の再検討の状況について (説明)</p> <p>(3) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた都立競技施設整備の進捗状況について (説明)</p> <p>(4) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会エンブレムの使用中止 (その2) について (説明・質疑)</p>	<p>・本日の委員会運営について</p> <p>・閉会中の継続調査について</p> <p>・その他</p>

	<p>(5) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会エンブレムの使用中止について (質疑)</p> <p>○閉会中の継続調査について</p>	
11月9日(月)	<p>○副委員長の互選</p> <p>○理事の互選</p> <p>○報告事項</p> <p>(1) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書案(その2)について(説明)</p> <p>(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた都立競技施設整備の進捗状況(その2)について(説明・質疑)</p> <p>(3) 東京2020オリンピック競技大会の追加種目について(質疑)</p> <p>(4) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会会場計画の再検討の状況について(質疑)</p> <p>(5) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた都立競技施設整備の進捗状況について(質疑)</p>	<p>・本日の委員会運営について</p> <p>・その他</p>
11月20日(金)	<p>○報告事項</p> <p>(1) 大会後のレガシーを見据えた2020年に向けた東京都の取組について(説明)</p> <p>(2) 東京2020パラリンピック競技大会会場計画の再検討の状況について(説明)</p> <p>(3) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における国際放送センター及びメインプレスセンターの配置計画について(説明・質疑)</p>	<p>・本日の委員会運営について</p> <p>・その他</p>

12月1日(火)	○報告事項(説明) (1) 新国立競技場の整備について	・本日の委員会運営について ・その他
12月14日(月)	○報告事項 (1) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会会場計画の再検討の状況(その2)について(説明) (2) 新国立競技場の整備について(質疑) ○閉会中の継続調査について	・本日の委員会運営について ・その他
12月16日(水)	○理事の互選 ○報告事項(説明) (1) ラグビーワールドカップ2019の概要について	・本日の委員会運営について ・その他
〃	〈小委員会〉 ○委員長の互選 ○副委員長の互選 ○議席について	〈打合会〉 ・今後のラグビーワールドカップ特別対策委員会の運営について ・その他
12月17日(木)	○報告事項(質疑) (1) 大会後のレガシーを見据えた2020年に向けた東京都の取組について (2) 東京2020パラリンピック競技大会会場計画の再検討の状況について (3) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会会場計画の再検討の状況(その2)について	・本日の委員会運営について ・その他
平成28年 1月18日(月)	○報告事項(説明) (1) 都有財産の取扱いについて	・本日の委員会運営について ・その他
1月26日(火)	○報告事項(質疑) (1) 都有財産の取扱いについて	・本日の委員会運営について ・その他



1月29日(金)	<p>〈小委員会〉</p> <p>○報告事項</p> <p>(1) ラグビーワールドカップ2019の東京都における経済波及効果について(説明・質疑)</p> <p>(2) ラグビーワールドカップ2019の概要について(質疑)</p>	<p>〈打合会〉</p> <p>・本日のラグビーワールドカップ特別対策委員会の運営について</p> <p>・その他</p>
2月17日(水)	<p>○報告事項(説明)</p> <p>(1) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書案(その3)について</p> <p>(2) 「Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドライン」暫定基準の承認について</p>	<p>・本日の委員会運営について</p> <p>・その他</p>
3月4日(金)	<p>○報告事項(質疑)</p> <p>(1) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書案(その3)について</p> <p>(2) 「Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドライン」暫定基準の承認について</p> <p>○閉会中の継続調査について</p>	<p>・本日の委員会運営について</p> <p>・その他</p>
5月12日(木)	<p>○報告事項(説明)</p> <p>(1) 平成28年度における競技会場等整備の予定について</p> <p>(2) 東京2020パラリンピック競技大会会場計画の再検討の状況(その2)について</p> <p>(3) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会エンブレムについて</p>	<p>・本日の委員会運営について</p> <p>・その他</p>
5月25日(水)	<p>○報告事項</p> <p>(1) 新規恒久施設の施設運営計画(中間のまとめ)について(説明)</p> <p>(2) 平成28年度における競技会場等整備の予定について(質疑)</p>	<p>・本日の委員会運営について</p> <p>・その他</p>

	<p>(3) 東京2020パラリンピック競技大会会場計画の再検討の状況(その2)について(質疑)</p> <p>(4) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会エンブレムについて(質疑)</p>	
6月8日(水)	<p>○報告事項(説明)</p> <p>(1) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書案(その4)について</p> <p>○閉会中の継続調査について</p>	<p>・本日の委員会運営について</p> <p>・その他</p>
6月17日(金)	<p>○報告事項(質疑)</p> <p>(1) 新規恒久施設の施設運営計画(中間のまとめ)について</p> <p>(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書案(その4)について</p>	<p>・本日の委員会運営について</p> <p>・その他</p>
7月12日(火)	<p>〈小委員会〉</p> <p>○報告事項(説明)</p> <p>(1) 開催都市マークについて</p> <p>(2) 公認チームキャンプ地について</p> <p>(3) ラグビーワールドカップリミテッドによる会場視察について</p> <p>(4) ラグビーテストマッチについて</p>	<p>〈打合会〉</p> <p>・本日のラグビーワールドカップ特別対策委員会の運営について</p> <p>・その他</p>
8月31日(水)	<p>○報告事項(説明)</p> <p>(1) 東京2020オリンピック競技大会の追加種目(その2)について</p>	<p>・本日の委員会運営について</p> <p>・その他</p>
〃	<p>〈小委員会〉</p> <p>○報告事項(質疑)</p> <p>(1) 開催都市マークについて</p> <p>(2) 公認チームキャンプ地について</p> <p>(3) ラグビーワールドカップリミテッドによる会場視察について</p> <p>(4) ラグビーテストマッチについて</p>	<p>〈打合会〉</p> <p>・本日のラグビーワールドカップ特別対策委員会の運営について</p> <p>・その他</p>

10月11日(火)	<p>○副委員長の辞任</p> <p>○理事の互選</p> <p>○報告事項</p> <p>(1)東京2020パラリンピック競技大会会場計画の再検討の状況(その3)について(説明)</p> <p>(2)東京2020参画プログラムについて(説明)</p> <p>(3)リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックについて(説明)</p> <p>(4)東京2020オリンピック競技大会の追加種目(その2)について(質疑)</p> <p>○閉会中の継続調査について</p>	<p>・本日の委員会運営について</p> <p>・その他</p>
10月25日(火)		<p>・今後の委員会運営について</p> <p>・その他</p>
11月2日(水)	<p>○副委員長の互選</p> <p>○理事の互選</p> <p>○報告事項(説明・質疑)</p> <p>(1)オリンピック・パラリンピック調査チームについて</p> <p>(2)トーマス・バッハIOC会長と小池知事との面会時の資料について</p>	<p>・本日の委員会運営について</p> <p>・その他</p>
〃	<p>〈小委員会〉</p> <p>○副委員長の互選</p>	
11月7日(月)	<p>○報告事項(説明)</p> <p>(1)オリンピック・パラリンピック調査チームの調査報告書について</p> <p>(2)新規恒久施設の見直しについて</p>	<p>・本日の委員会運営について</p> <p>・その他</p>
11月11日(金)	<p>○報告事項(質疑)</p> <p>(1)東京2020パラリンピック競技大会会場計画の再検討の状況(その3)について</p> <p>(2)東京2020参画プログラムについて</p>	<p>・本日の委員会運営について</p> <p>・その他</p>

	(3) リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックについて	
11月18日(金)	○報告事項 (1) 東京2020大会に向けたボランティア戦略(案)について(説明) (2) オリンピック・パラリンピック調査チームの調査報告書について(質疑) (3) 新規恒久施設の見直しについて(質疑)	・本日の委員会運営について ・その他
12月6日(火)	○報告事項 (1) 四者協議について(説明) (2) 東京2020大会に向けたボランティア戦略(案)について(質疑) ○閉会中の継続調査について	・本日の委員会運営について ・その他
12月21日(水)	○報告事項 (1) 東京2020オリンピック競技大会の追加種目(その3)について(説明・質疑) (2) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会会場見直しについて(バレーボール・車椅子バスケットボール会場)(説明・質疑) (3) 四者協議について(質疑)	・本日の委員会運営について ・その他
12月26日(月)	○報告事項(説明) (1) 四者協議(その2)について (2) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における業務と経費について (3) オリンピック・パラリンピック調査チームの提言等について	・本日の委員会運営について ・その他
平成29年 1月26日(木)	○報告事項(質疑) (1) 四者協議(その2)について (2) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における業務と経費について (3) オリンピック・パラリンピック調査チームの提言等について	・本日の委員会運営について ・その他

2月21日(火)	<p>〈小委員会〉</p> <p>○報告事項(説明)</p> <p>(1)ラグビーワールドカップ2019における東京スタジアムの会場運営計画案について</p> <p>(2)ラグビーワールドカップ2019における交通アクセス対策について</p>	<p>〈打合会〉</p> <p>・本日のラグビーワールドカップ特別対策委員会の運営について</p> <p>・その他</p>
3月9日(木)	<p>○副委員長の辞任</p> <p>○副委員長の互選</p> <p>○理事の辞任</p> <p>○理事の互選</p> <p>○閉会中の継続調査について</p>	
〃	<p>〈小委員会〉</p> <p>○副委員長の互選</p> <p>○報告事項(質疑)</p> <p>(1)ラグビーワールドカップ2019における東京スタジアムの会場運営計画案について</p> <p>(2)ラグビーワールドカップ2019における交通アクセス対策について</p>	<p>〈打合会〉</p> <p>・本日のラグビーワールドカップ特別対策委員会の運営について</p> <p>・その他</p>
4月5日(水)	<p>○報告事項(説明)</p> <p>(1)「Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドライン」について</p> <p>(2)東京2020オリンピック競技大会の追加種目(その4)について</p> <p>(3)平成29年度における競技会場等整備の予定について</p> <p>(4)カヌー・スラローム会場の整備について</p> <p>(5)東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書案(その5)について</p> <p>(6)選手村のマスタープラン等について</p>	<p>・本日の委員会運営について</p> <p>・その他</p>

4月19日(水)	<p>○報告事項</p> <p>(1) 2020年大会開催準備に関わる主な取組について(説明)</p> <p>(2) 新規恒久施設の施設運営計画(最終のまとめ)について(説明)</p> <p>(3) 大井ホッケー競技場の整備について(説明)</p> <p>(4) 有明テニスの森の整備について(説明)</p> <p>(5) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書案(その6)について(説明)</p> <p>(6) 「Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドライン」について(質疑)</p> <p>(7) 東京2020オリンピック競技大会の追加種目(その4)について(質疑)</p> <p>(8) 平成29年度における競技会場等整備の予定について(質疑)</p> <p>(9) カヌー・スラローム会場の整備について(質疑)</p> <p>(10) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書案(その5)について(質疑)</p> <p>(11) 選手村のマスタープラン等について(質疑)</p>	<p>・本日の委員会運営について</p> <p>・その他</p>
5月11日(木)	<p>○報告事項</p> <p>(1) 開催都市契約2020の公表について(説明)</p> <p>(2) 2020年大会開催準備に関わる主な取組について(質疑)</p> <p>(3) 新規恒久施設の施設運営計画(最終のまとめ)について(質疑)</p> <p>(4) 大井ホッケー競技場の整備について(質疑)</p> <p>(5) 有明テニスの森の整備について(質疑)</p>	<p>・本日の委員会運営について</p> <p>・その他</p>

	(6) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会実施段階環境影響評価書案(その6)について(質疑)	
5月26日(金)	〈小委員会〉 ○報告事項 (1) ラグビーワールドカップ2019™日本大会プール組分け抽選会(説明) (2) 東京スタジアムの改修整備計画について(説明・質疑) ○ラグビーワールドカップ特別対策委員会調査報告(中間報告書)について	〈打合会〉 ・本日のラグビーワールドカップ特別対策委員会の運営について ・その他
6月1日(木)	○報告事項 (1) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の役割(経費)分担について(説明) (2) 開催都市契約2020の公表について(質疑) ○委員会調査報告(中間報告書)について ○閉会中の継続調査について	・本日の委員会運営について ・閉会中の継続調査について ・その他

### 3 調査・検討の概要

本委員会は、大会招致決定後の平成25年10月11日に設置された後、これまで約3年8か月にわたり60回開催し、精力的に調査・検討を行ってきた。

委員会では、まず、第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会(以下、「東京2020大会」という)の開催に必要な取組や実施状況等について理事者から報告を受け、多岐にわたる事項について調査を実施した。その調査事項は大きく分類すると、①施設・輸送等、②大会運営、③気運醸成、④連携協力、⑤費用負担、⑥レガシーの6つに分けられる。

特に①施設・輸送等については、施設整備では新国立競技場の整備費用負担や、有明アリーナや海の森水上競技場等の新規恒久施設等の仕様やコスト、大会後の後利用等について、詳細な調査・検討が行われた。

このほか、本委員会に第9回ラグビーワールドカップ2019™の開催に向けて効率的かつ専門的に調査・検討を行うラグビーワールドカップ特別対策委員会を小委員会として設置し、競技会場となる東京スタジアムへの交通アクセス改善などについて、幅広

く質疑を行った。

本委員会における調査・検討の具体的な内容は、次のとおりである。

#### (1) 施設・輸送等について

今回の特別委員会の中で、一番集中的に議論を行ったのが、施設・輸送等に関する事項である。特に施設整備については、平成26年6月から既に会場計画の見直しについて議論を開始し、既存施設の活用促進を踏まえ、これまで何度も検討を重ねてきた。新規恒久施設の整備、既存施設の改修など、コスト縮減を念頭に置きつつ、アスリートや競技団体の意見も尊重し、競技特性を踏まえた会場計画の見直しに取り組んできた。

例えば、大会時のメインスタジアムとなる新国立競技場については、国との役割分担や費用負担の在り方、負担額の根拠等について、多岐にわたり活発な議論が行われた。また、各競技会場については、本委員会において単にコストの問題だけでなく、実現可能性や大会後のレガシー、パラリンピック競技の会場として必要な機能の充実といった点も含め、総合的な観点から議論を行ってきた。その後、オリンピックアクアティクスセンター・有明アリーナ・海の森水上競技場の3施設については、オリンピック・パラリンピック調査チームによる検討や一定の見直しも行われたが、最終的に当初計画の場所で新規恒久施設として整備することとなった。

また、選手村と新国立競技場・各競技施設等を結ぶ輸送については、輸送インフラ（環状二号線）の整備状況により、大会輸送計画や大会関係者の車両基地などに影響を与えることから、実現可能な輸送インフラの整備等について、質疑が行われた。

晴海五丁目西地区に設置を予定している選手村は、大会後のレガシーを踏まえ、選手村の整備や運営計画の策定について、様々な議論が行われ、特にリオ2016大会に出場したアスリートからの経験や知見を選手村整備に反映するよう、要望した。

この他、競技種目についてオリンピック32競技の35会場、パラリンピック22競技の18会場がIOC・IPCの各理事会で承認され、残るオリンピックのサッカーと、パラリンピックの自転車競技（ロード・レース）についてもIOC・IPCの承認を得るため、準備を進めていくことが報告された。

#### (2) 大会運営について

東京2020大会を成功させるためには、アスリートが最高のパフォーマンスを発揮するための施設整備などのハード面はもとより、ボランティアやセキュリティ等の日本のおもてなし文化や防犯技術といったソフト面も大会運営に欠かせない要素となっている。

特に、大会期間中9万人以上は必要とされるボランティアは、東京都ボランティア活動推進協議会の設置（平成27年9月）や東京2020大会に向けたボランティア戦略の策定（平成28年12月）等により、募集や運営のあり方等ボランティアの基



本的な考え方について確認し、「東京ボランティアナビ」の開設（平成28年3月）やラグビーワールドカップ2019™大会との連携等について、幅広い質疑が行われた。

更に、開閉会式での演出等については、組織委員会において設置された、「東京2020有識者懇談会」により今後検討していくこととなるが、国との役割分担や費用負担など引き続き調査・検討が必要であることを確認した。

また、大会運営におけるハード・ソフト両面のバリアフリー化を目的とした指針として平成29年3月に公表された「Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドライン」については、東京2020大会の各会場のアクセシビリティに配慮が必要な大会関係者の活動エリアや動線、会場へのアクセスルートとなる経路等のほか、組織委員会による情報発信・表示サイン等の基準なども対象となっていることから、新設又は改修が行われる競技施設等への影響などについて、活発な議論が行われた。

多言語対応については協議会の設置やポータルサイトの開設等の取組の他、多言語音声翻訳システム等のICTの活用を推進していくことや、セキュリティ対策については「治安対策」「サイバーセキュリティ」「災害対策」「感染症対策」の4つの視点から庁内横断的な検討を推進していくこと等について議論を行った。

### （3）気運醸成について

競技者はもとより、観戦者を含め一体となって東京2020大会を盛り上げていくためには、様々なイベントの実施等を通じて、気運醸成を図ることが求められる。

まずはリオ2016大会の熱気を引き継ぐ、東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアーの実施や、東京2020大会2,020日前、4年前等のカウントダウンイベント等がこれまで行われており、今後も引き続きこうしたイベント等の実施を通じて、更なる気運醸成を図っていくことについて、議論が行われた。

特にパラリンピックは気運醸成のみならず、パラリンピックの体験プログラム「No Limits Challenge」等を通じてパラリンピック競技への理解促進を図ることが重要であることから、今後もこうした取組を着実に都内各地で実施していくことを強く求めた。

また、リオ2016大会ではライブサイトによるパブリックビューイングやリオ現地でのジャパンハウスによるPR等を実施しており、そこで得た知見を踏まえ、東京2020大会に活かしていくよう要望した。

そしてアスリートが最適な環境で事前トレーニングを行うために重要な事前キャンプは、キャンプを受け入れる自治体にとっても、地域振興や国際交流の促進が期待できる大切な気運醸成の1つである。「東京事前キャンプガイド」の開設により、都内区市町村施設の紹介や東日本大震災被災3県を含む全国のキャンプ候補地情報について掲載するとともに、国際スポーツ大会や国際会議の開催に併せたPR活動の実施等について議論を行った。

また、組織委員会がオリンピック・パラリンピックムーブメントへの参加促進とレ

ガシー創出に向けたアクションの促進を目的として実施する「東京2020参画プログラム」について、都内における積極的な活用に向けた議論を行った。

#### (4) 連携協力について

東京2020大会は都が開催都市ではあるが、オールジャパンでの連携なくして実現はできない。関係自治体との連絡協議会（平成27年11月）や、東日本大震災被災地復興支援映像の作成や各種スポーツ交流事業の実施等を通じた被災地復興支援に関する取組について質疑を行い、関係自治体と緊密に連携を図っていくことを要望した。

#### (5) 費用負担について

立候補ファイル時点では競技施設の大半が都内で実施されるコンパクトな大会を目指していたが、近隣県などの都外施設に競技会場を移すことにより、大幅なコスト削減が実現した。このことは都外施設が所在する各自治体の協力なしには実現できないことであり、今後も関係自治体との連携は、東京2020大会の成功の重要な役割を担っている。こうした都外施設のうち、他縣市が所有する施設の仮設について、都が費用負担することが公表され、負担を決めた理由や仮設の定義、費用負担の財源やこれまでの国・都・組織委員会の三者協議等について、活発な議論が行われた。

#### (6) レガシーについて

新規恒久施設や選手村の後利用等のハード面のみならず、ボランティア、文化、教育、産業等ソフト面を含む2020大会後のレガシーを見据えて策定した「2020年に向けた東京都の取組」（平成27年12月）について質疑を行った。競技施設・選手村の大会後の有効活用、誰もがスポーツに親しむ環境の整備、都民参加やボランティア等によるかけがえのない感動や記憶といった心のレガシー、世界で初めて2回目の開催となるパラリンピック大会を契機とした誰もが暮らしやすい共生社会の実現、被災地が復興へ歩む姿の世界への発信など大会に関連する幅広い分野について、議論を行った。

#### (7) ラグビーワールドカップ特別対策委員会（小委員会）での調査・検討について

本小委員会は、平成27年12月16日の本会議においてオリンピック・パラリンピック推進対策特別委員会設置要綱の一部改正に関する動議が提出、可決され、目的の中に2019年に開催される第9回ラグビーワールドカップ2019™の開催に向けた調査・検討が加わったことにより、オリンピック・パラリンピック等推進対策特別委員会の小委員会として設置された。これまで8回の小委員会及び7回の打合会を開催し、特別委員会から付託を受けた、第9回ラグビーワールドカップ2019™の開催に向けて、精力的に調査・検討を行った。

小委員会における調査・検討の状況は次のとおりである。

ア 開催概要及び開催都市マークの決定について

開会式及び開幕戦が実施される東京スタジアムの課題が議論され、ファンゾーンやホスピタリティ施設の設置、シャトルバスの運行など交通アクセスの改善、観客及びVIPの会場動線、周辺道路や広域的な移動手段の確保など、大会実施までに改善しなければならない課題について、質疑が行われた。

また、施設面以外でも開催気運の醸成、ボランティアの育成、シティドレッシングの実施、会場周辺のセキュリティ確保等のソフト面に加え、開催都市マークを活用した2019年大会のPR等についても議論が行われた。

イ ラグビーワールドカップリミテッド（RWCL）による視察報告について

平成28年4月4日から28日まで（東京スタジアムは4月18日・19日）ラグビーワールドカップリミテッド（RWCL）による会場視察が行われ、6月にその視察報告書の内容が明らかになった。この中で芝フィールドの耐久性確保、競技用照明の改善、ホスピタリティスペースの確保、運営・メディア席の設置の必要性などが指摘され、これらを踏まえた今後のスタジアム改修等について議論を行った。

ウ ラグビーテストマッチ及びイベントの実施結果と課題について

平成28年6月25日に開催された日本代表とスコットランド代表によるテストマッチでは、会場となった東京スタジアムに約34,000人の観客が来場した。当日は本番となるラグビーワールドカップ2019<sup>TM</sup>大会を想定し、ラグビーフェスティバル2016 & TOKYOのイベントも同時開催した。今回のテストマッチ等の実施により、シャトルバスの確保を含む交通アクセスや地元3市との連携の重要性、バリアフリー対策、会場内動線の確保等の課題が浮き彫りにされ、幅広く質疑が行われた。

エ 東京スタジアムの会場運営計画案について

ラグビーワールドカップ2019<sup>TM</sup>における東京スタジアムの会場運営計画案について理事者から説明があり、ハイブリッド芝と天然芝の耐久性を比較実験し、その使用感について選手からヒアリングを行う等、大会で採用する芝について平成29年度内に都としての結論を出していくことや、武蔵野の森総合スポーツプラザ等をホスピタリティスペースとして活用すること等について質疑が行われた。

オ 交通アクセス対策について

公共交通機関による輸送計画の検討やファンゾーンを活用した観客の分散等について議論が行われ、西武多摩川線多磨駅やJR中央線武蔵境駅等を利用するスタジアム北側ルートや、小田急線狛江駅等を利用するスタジアム南側ルートの必要性、各駅とスタジアムを結ぶシャトルバスによる輸送計画などについて、様々な議論が行われた。

カ 東京スタジアムの改修整備計画について

ラグビーワールドカップ2019<sup>TM</sup>の開催に向け、車いす席、昇降機、車いす対

応トイレの増設など Tokyo 2020 アクセシビリティ・ガイドラインに基づくバリアフリー対応をはじめとする東京スタジアムの改修工事の方向性について質疑が行われた。

#### 4 今後に向けて

本委員会では、これまで東京2020大会の開催に向けた様々な取組を調査してきたが、それは単に2回目の東京オリンピック開催ではなく、オールジャパンでの連携、気運醸成、被災地の復興、オリンピックのレガシーなど、開催を契機として東京や日本全体が活気づいていくような、そういった視点から精力的かつ前向きな議論をし、多くの意見を述べてきた。

この間の議論でも新国立競技場の費用負担や新規恒久施設の整備や円滑な輸送といったハード面のみならず、ボランティアやセキュリティ対策、多言語対応などのソフト面等の課題も多く、そうした課題にも1つ1つ議論を行ってきた。

特に新規恒久施設のコスト見直し、後利用などについては、パラリンピック競技の会場として必要な機能やオリンピックのレガシーを良い形で残せるよう、本委員会で何年にもわたり継続的な議論を重ねてきた。オールジャパンでの連携、特に都外の競技施設は関係自治体との調整・協力の上で実現し、コストの削減にもつながってきた。

一方で、オリンピック・パラリンピック調査チームによる新規恒久施設の検討や一定の見直しが行われたが、最終的には当初計画の場所で新規恒久施設として整備することとなった。

しかし、国と都と組織委員会並びに競技会場が所在する関係自治体による費用負担問題や大会輸送計画など課題は数多く残されている。引き続きしっかり議論を行い、あと3年後にまで迫った東京2020大会の開催準備を滞りなく進めていかなければならない。今後、こうした大会準備を加速させていくためには、開催都市である都、大会運営を担う組織委員会、開催国である国、競技会場が所在する関係自治体の各主体がそれぞれの役割を明確にした上で、緊密に連携し、責任を果たしていくことが極めて重要である。そのためには、まず二元代表制のもと、都議会と都がより緊密な意思疎通と情報共有を行い、十分なコンセンサスと都民の理解を得ながら進めていくことが不可欠である。

本委員会における調査が、東京2020大会の成功に活かされることを強く希望して、本委員会の中間報告とする。

これまで IOC 理事会に報告し、了承を得たオリンピック競技会場  
【32競技・35会場】

平成29年6月1日現在

競技名		立候補ファイル時 ※1		再検討後 ※2		会場 変更
水泳	競泳、飛込、 シンクロナイズドスイミング	オリンピック アクアティクスセンター	新設	オリンピック アクアティクスセンター	新設	
	水球	ウオーターポロアリーナ	仮設	東京辰巳国際水泳場	既存	有
	マラソン 10km	お台場海浜公園	仮設	お台場海浜公園	仮設	
アーチェリー	夢の島公園	新設	アーチェリー会場（夢の島公園）	新設		
陸上競技	オリンピックスタジアム	計画	オリンピックスタジアム	計画		
バドミントン	夢の島ユース・プラザ・アリーナ A	新設	武蔵野の森総合スポーツプラザ	計画	有	
野球・ソフトボール		—	—	横浜スタジアム	既存	—
				福島あづま球場	既存	—
バスケットボール	夢の島ユース・プラザ・アリーナ B	新設	さいたまスーパーアリーナ	既存	有	
ボクシング	国技館	既存	国技館	既存		
カヌー	スプリント	海の森水上競技場	新設	海の森水上競技場	新設	
	スラローム	葛西臨海公園	新設	カヌー・スラローム会場	新設	有
自転車競技	トラック・レース	有明ペドロローム	仮設	伊豆ペドロローム	既存	有
	ロード・レース	スタート	皇居外苑	仮設	皇居外苑	仮設
		ゴール	武蔵野の森公園	仮設		
	マウンテンバイク	海の森マウンテン バイクコース	仮設	伊豆マウンテンバイクコース	既存	有
BMX	有明 BMX コース	仮設	有明 BMX コース	仮設		
馬術	馬場馬術、障害馬術、 総合馬術	夢の島競技場	既存	馬事公苑	既存	有
	総合馬術 (クロスカントリー)	海の森クロスカントリーコース	仮設	海の森クロスカントリーコース	仮設	
フェンシング	東京ビッグサイト・ホール B	既存	幕張メッセ B ホール	既存	有	
体操	有明体操競技場	仮設	有明体操競技場	仮設		
ゴルフ	霞ヶ関カンツリー倶楽部	既存	霞ヶ関カンツリー倶楽部	既存		
ハンドボール	国立代々木競技場	既存	国立代々木競技場	既存		
ホッケー	大井ホッケー競技場	新設	大井ホッケー競技場	新設		
柔道	日本武道館	既存	日本武道館	既存		
空手	—	—	日本武道館	既存	—	
近代五種	フェンシング	武蔵野の森総合スポーツ施設	計画	武蔵野の森総合スポーツプラザ	計画	
	水泳、馬術、 ランニング、射撃	東京スタジアム	既存	東京スタジアム	既存	
ボート	海の森水上競技場	新設	海の森水上競技場	新設		
ラグビー	オリンピックスタジアム	計画	東京スタジアム	既存	有	
セーリング	若洲オリンピックマリーナ	新設	江の島ヨットハーバー	既存	有	
射撃	陸上自衛隊朝霞訓練場	仮設	陸上自衛隊朝霞訓練場	仮設		
スケートボード	—	—	青海アーバンスポーツ会場	仮設	—	
スポーツクライミング	—	—	青海アーバンスポーツ会場	仮設	—	
サーフィン	—	—	釣ヶ崎海岸サーフィン会場	仮設	—	
卓球	東京体育館	既存	東京体育館	既存		
テコンドー	東京ビッグサイト・ホール B	既存	幕張メッセ A ホール	既存	有	
テニス	有明テニスの森	既存	有明テニスの森	既存		
トライアスロン	お台場海浜公園	仮設	お台場海浜公園	仮設		
バレーボール	インドア	有明アリーナ	新設	有明アリーナ	新設	
	ビーチバレーボール	潮風公園	仮設	潮風公園	仮設	
ウエイトリフティング	東京国際フォーラム	既存	東京国際フォーラム	既存		
レスリング	東京ビッグサイト・ホール A	既存	幕張メッセ A ホール	既存	有	

## ※1・2

既存：既存の競技会場（恒久工事の必要な競技会場を含む）

計画：大会開催に関わらず新設する予定の競技会場

新設：大会開催のために新設する予定の競技会場

仮設：仮設の競技会場

◆サッカーについては、予選会場の追加を検討中。

## これまでIPC理事会に報告し、承認を得たパラリンピック競技会場 【22競技・18会場】

平成29年6月1日現在

競技名		立候補ファイル時		再検討後		会場 変更
アーチェリー		夢の島公園	新設	夢の島公園	新設	
陸上競技		オリンピックスタジアム	計画	オリンピックスタジアム	計画	
バドミントン		-	-	国立代々木競技場	既存	有
ボッチャ		東京ビッグサイト・ホールB	既存	有明体操競技場	仮設	有
カヌー		海の森水上競技場	新設	海の森水上競技場	新設	
自転車競技	トラック・レース	有明ベロドローム	仮設	伊豆ベロドローム	既存	有
馬術		夢の島競技場	既存	馬事公苑	既存	有
5人制サッカー		大井ホッケー競技場	新設	青海（※）	仮設	有
ゴールボール		有明体操競技場	仮設	幕張メッセ	既存	有
柔道		日本武道館	既存	日本武道館	既存	
パワーリフティング		東京ビッグサイト・ホールA	既存	東京国際フォーラム	既存	有
ボート		海の森水上競技場	新設	海の森水上競技場	新設	
射撃		陸上自衛隊朝霞訓練場	仮設	陸上自衛隊朝霞訓練場	仮設	
シッティングバレーボール		有明アリーナ	新設	幕張メッセ	既存	有
水泳		オリンピックアクアティクスセンター	新設	オリンピックアクアティクスセンター	新設	
卓球		東京体育館	既存	東京体育館	既存	
テコンドー		-	-	幕張メッセ	既存	有
トライアスロン		お台場海浜公園	仮設	お台場海浜公園	仮設	
車椅子バスケットボール		夢の島ユース・プラザ・アリーナB	新設	有明アリーナ	新設	有
		夢の島ユース・プラザ・アリーナA	新設	武蔵野の森総合スポーツ施設	計画	有
車いすフェンシング		夢の島ユース・プラザ・アリーナA	新設	幕張メッセ	既存	有
ウィルチェアーラグビー		国立代々木競技場	既存	国立代々木競技場	既存	
車いすテニス		有明テニスの森	既存	有明テニスの森	既存	

（注1）バドミントン、テコンドーについては、立候補ファイル提出後、東京2020パラリンピック競技大会の実施競技として選定された競技

（注2）「既存」「計画」「新設」「仮設」について

既存：既存の競技会場（恒久工事の必要な競技会場を含む）

計画：大会開催に関わらず新設する予定の競技会場

新設：大会開催のために新設する予定の競技会場

仮設：仮設の競技会場